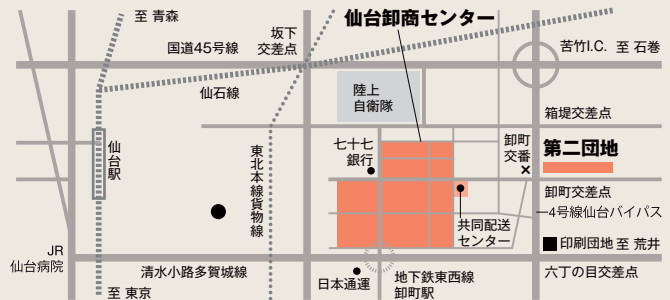


# 協同組合仙台卸商センター

宮城県仙台市若林区卸町

昭和40年に設立された多業種の企業が集まった日本で最大規模を誇る総合流通団地。東北の流通拠点として重要な役割を担っている。団地の活性化、流通機能の再構築への取組みが急務となる中、遊休施設の活用を図り、愛されるまちづくり、文化芸術機能の追加、居住できる環境づくりを目指して活動している。集団化のメリットを最大限に活かし、一般市民にも親しまれるような開放された「まち」、そして「人・モノ・情報・文化」が行き交う、多くの都市機能を兼ね備えた新しいまちづくりに取り組んでいる。

春、秋に開催する「卸町ふれあい市」は多くの市民でにぎわう。



地域の地区計画の策定を田辺市政にお願いし、官と民が創意工夫し、商都静岡市の更なる発展のために、新たな「ま

## 利益を生む仕組みづくりと 人や企業が集まる 団地づくり

今回の視察で強く感じたことは、組合として柔軟に変化して、地域の経済活動を担いつつ、確実な収益確保と再投資を行い、成長し続けているということでした。

現在に至るまでには、時代や経済環境の変化から会員の倒産や廃業の苦境に立たされたものの、団地の乱開発や空洞化を防ぐために定款やルールの変更を行い、苦境を乗り越えるための挑戦をされてきました。

そして、その変化は小さな波から大きな波になり、団地の魅力を広げていきました。環境に合わせて、自ら変化して対応することが事業の継続と発展につながることを実例を通して改めて学びました。

高崎卸商社街協同組合は、団地内に大学があり、JRの駅も誘致するなど、前例の無いことや立地を生かした

ちみがきビジョン」を創案して参りたいと思います。



河辺商事(株)  
代表取締役  
河邊博信 さん

取り組みに驚きました。そして、組合として収益を上げる仕組みづくりと更なる成長への経済活動が行われており、力強さを感じました。

### 〈ポイント〉

- 大学誘致による人が集まる団地づくり。
- 公共交通機関を活用した集客。
- ルールの見直しなど時代や環境に合わせた変化と挑戦。
- 100社以上が集積し、進出希望業者が後を絶たない。
- 住民提案型の地区整備により乱開発を抑制。

一方、協同組合仙台卸商センターは、廃業したホテルを改装して起業者向けオフィスとして貸し出したり、音楽スタジオや能舞台施設等があり、若者をはじめ世代を問わず多くの人が積極的に活動していました。